

令和 6 年度 学校関係者評価報告書

学校法人 都築学園
専門学校 第一自動車大学校

1 学校関係者評価の目的

自己点検の評価結果について、学校外の関係者による評価を行い、自己評価結果の客観性・透明性を高めるとともに、生徒・卒業生、関係業界、小学校等、地域住民など、専門学校第一自動車大学校と密接に関係する者の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図る。

2 学校関係者評価委員会の目的等

(1) 目 的

学校関係者評価委員会は、その評価結果や今後の改善方策等について取りまとめ、広く公表するとともに、学校はこれを自己点検の改善方策の検討において活用し、次年度の重点目標の設定や具体的取組の改善を図る。

(2) 評価の基本

学校評価委員会は、各種の資料の検証や、学校の諸活動の観察等を通じて、令和5年度の学校が行った自己評価の結果及びそれを踏まえた今後の改善方策について次の項目等に基づき評価することを基本とする。

ア 自己評価の結果の内容が適切かどうか。

イ 自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか。

ウ 学校の重点目標や自己評価の評価項目等が適切かどうか。

エ 学校運営の改善に向けた実際の取り組みが適切かどうか。

オ 学校運営の継続的改善を図る観点から、運営改善のための専門的助言

3 学校関係者評価会議

(1) 実施日時・場所

令和7年5月17日（土）1000～ 専門学校第一自動車大学校3階教室

(2) 学校関係者評価委員名簿

氏 名	役 職 等
寺崎 浩二	一般社団法人福岡県自動車整備振興会 指導部 部長
東 あかね	福岡トヨペット株式会社 採用・教育部 採用教育グループ 上席主任
武田 匡博	福岡スバル株式会社 総務総括部 人事課
松本 文彦	福岡市東光公民館 館長
王 東明	東越自動車 代表者

(3) 本校出席者

氏 名	役 職 等	氏 名	役 職 等
江崎 久	校 長	鬼山 誠一	就職課
吉田 智博	学生課長	武田 年伸	就職課
本田 浩隆	学生課	松尾 聡	事務長
松岡 宏和	教務課長	富野 慶一	事 務
大家 隆弘	教務課		

(4) 実施次第

ア 開会及び校長挨拶

イ 学校関係者評価委員紹介

- ウ 第一自動車大学校職員自己紹介
- エ 自己評価の結果説明
- オ 自己評価に対する審議
- カ 閉会

(5) 自己点検評価

ア 目的

文部科学省の「専修学校における学校評価ガイドライン」にそって、本校の教職員・事務職員全員に実施し、自己の客観性・透明性を高め、学校運営の取り組み方、実施方法について改善を図る。

イ 評価の要領

学生へのアンケート調査を踏まえ、教員及び事務職員が評価項目に従い、4段階評価により自己点検・評価を行い、総合的に評価分析し、学校としての今後の課題と改善策を明らかにする。

ウ 評価項目

- (ア) 教育理念・目標
- (イ) 学校運営
- (ウ) 教育活動
- (エ) 学修成果
- (オ) 学生支援
- (カ) 教育環境
- (キ) 学生の受け入れ募集
- (ク) 財 務
- (ケ) 法令等の遵守・内部質保証
- (コ) 社会貢献・地域貢献
- (サ) 国際交流

エ 評価表記

4・・・適切 3・・・ほぼ適切 2・・・やや不適切 1・・・不適切

オ 評価対象期間

令和6年4月1日～令和7年3月31日

カ 評価の結果

(ア) 教育理念・目標

教育基本法及び学校教育法に従い本校の建学の精神である「個性の伸展による人生錬磨を校是とする」を掲げ、その方針に則り各自の能力及び特性に応じ自動車整備の要求に即応した即戦力として活躍できる一級自動車整備士、二級自動車整備士を育成・輩出し、我が国の自動車産業の技術向上に最大限寄与している。

また、自動車産業界の進歩と保安基準の変化に伴い高い技術を有する一級自動車整備士コースを開設するなど自動車整備業界のニーズに応えた教育体制を整えるとともに、日本人と外国人留学生を幅広く受け入れ、共に切磋琢磨するグローバルな環境を活かして職業人の養成を行い国際社会に貢献する学校を目指している。

項目	評 価 項 目	自己点検 評価	学校関係者 評価
1-1	学校は教育理念・目的・育成人材像を定めていますか	3	3

1-2	学校における職業教育は適切に定められていますか	3	3
1-3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱えていますか	3	3
1-4	学校の理念・目的・人材育成・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されていますか	3	3
1-5	学科・コースの教育目標・育成人材像は、学科等に対応する業界の人材ニーズに向けて方向付けられていますか	3	3

【報 告】

1-2 学校における職業教育は適切に定められていますか。

(具体的取り組み)

国土交通省の指定校の専門学校として高度専門士及び専門士を育成するため、一級自動車整備士及び二級自動車整備士の国家資格取得に必要な規則に定められた基準時間以上の教育時間を設定し職業教育に取り組んでいる。また、業界団体の意見を踏まえインターンシップ等への参加による将来像の具体化を図るとともに、ビジネスマナー教育も計画的に実施し、社会人として即戦力となれるよう職業教育を重視したシラバス及びカリキュラムを定め取り組んでいる。

(課 題)

令和 8 年度から施行される文部科学省の学校教育法改正に基づき、教育時間から単位制への移行準備が不十分である。

(改善策)

令和 8 年度からの単位制移行に対応するため、本年度カリキュラムの教育時間に基づき科目ごとの単位を早急に検討し、学則変更等必要な準備を促進する。

<委員の方々からのご意見等>

・時間制から単位制への移行とは、現在時間制で規定しているカリキュラムを、学科は15時間から30時間を1単位、実習は30時間から45時間を1単位として、1年間31単位の単位制にカリキュラムに変更すること。

(イ) 学校運営

学校設置当初から学校運営・目的に沿った「教育指針」を学校運営方針として定め、中・長期的な視点のもと、教育に影響を及ぼす環境の変化や前年度の教育成果等を分析し、年度の教育カリキュラム、就職支援、募集広報等についてより具体化した事業計画を策定し、法人の規程を遵守しつつ着実に校務を運営している。

項目	評 価 項 目	自己点検 評価	学校関係者 評価
2-1	学校運営・目的等に沿った運営方針が策定されていますか	4	4
2-2	運営方針に沿った事業計画が策定されていますか	3	3
2-3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されていますか	3	3
2-4	人事等に関する規定等は整備されていますか	4	4
2-5	教育活動等に関する情報公開が適切になされていますか	4	4
2-6	情報システム化等による業務の効率化が図られていますか	3	3

【報 告】

2-1 学校運営・目的等に沿った運営方針が策定されていますか。

(具体的取り組み)

学校設置当初から学校運営・目的に沿った「教育指針」を学校運営方針として定め学生便覧の中でも明示している。

(課 題)

自動車整備士に対する社会的ニーズや自動車産業の将来的な動向を踏まえた学校運営方針の継続的な検討が必要である。

(改善策)

学校関係者評価会議等を活用した学校運営方針の継続的な検討を実施する。

(ウ) 教育活動

国土交通省の指定校として基準以上の教育及び学校独自の指定外教育等により、分かる教育、分からせる教育をモットーに、留学生を含む学生一人一人の個性を活かし、放課後等を活用した学力に合ったきめ細やかな教育体制の中で基本に力を入れ、一級・二級自動車整備士合格率 100% 及び就職率 100% 達成に向けて全教職員一丸となり取り組んでいる。また、自動車に関連する各種資格取得について積極的に奨励している。

項目	評 価 項 目	自己点検 評価	学校関係者 評価
3-1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が査定されていますか	3	3
3-2	教育理念・育成人材や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間確保は明確化されているか	3	3
3-3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されていますか	3	3
3-4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点にたったカリキュラムや教育方針の工夫・開発が実施されていますか	4	4
3-5	関連分野の企業・関係施設や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直しが行われていますか	2	2
3-6	関係分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられていますか	3	3
3-7	授業評価の実施・評価体制はありますか	3	3
3-8	成績評価・単位認定、進級・卒業判定基準は明確になっているか	3	3
3-9	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中で体系的な位置付けはあるか	3	3
3-10	人材育成目標の達成に向け授業をおこなうことができる要件を備えた教員を確保しているか	2	2
3-11	関連分野における業界との連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか	2	2
3-12	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修	3	3

	や教員の指導力育成など資質向上の取り組みがなされているか		
3-13	職員の能力開発のための研修等がおこなわれているか	3	3

【審議内容】

3-10 人材育成目標の達成に向け授業をおこなうことができる要件を備えた教員を確保しているか。

(具体的取り組み)

自動車整備関連の多様な経歴と実績及び資格を有する専任教員及び非常勤職員の確保に苦勞している。

(課 題)

一級自動車整備士、二級自動車整備士資格保有教員及び非常勤職員の確保が厳しい状況である。

(改善策)

自動車関連企業等との連携による各ディーラー定年退職者、卒業生等を通じた一級自動車整備士、二級自動車整備士資格保有者に関する継続的な情報収集とハローワークにおける教職員募集の継続的な実施に取り組む。

<委員の方々からのご意見等>

- ・弊社において自動車整備士は定年まで現場にいることはほとんどない。マネージャーとしてキャリアアップ又は本部勤務となっている。
- ・メカニックマンとして定年後すぐに教職に就くことができるのか不透明である。
- ・機会があれば声をかけてみる。

(エ) 学修成果

一級自動車メカニックコース（カードクター一級整備士コース）、メカニックコース（カードクター二級整備士コース）、カードクター留学生ベーシックコースそれぞれ明確な目標を設定し、結節時の評価判定と個々に応じたきめ細やかな補備教育の実施により段階的に実力向上を図ることができた。

令和6年度国家試験においては、一級自動車整備士 33%（3名中2名不合格）、二級自動車整備士ガソリン 100%、ジーゼル 100%であった。一級自動車整備士が2名合格できなかったことについて、今回の結果を踏まえよく分析・検討し、教員の教授要領の能力向上を含め今後の教育に反映していく。

令和6年度は日本人7名、留学生2名の退学者を出したことから、その要因及び環境を分析して次年度の退学率軽減策に反映する。この際、現在実施している担任制及び自己発見検査等を活用した学生の心情等の把握は継続して実施し、退学率軽減策及び学生の現況を教職員間で適宜情報共有することにより組織的な体制を構築して退学率の軽減を図っていく。

就職に関しては、日本人及び留学生ともに100%就職することができており、着実に就職指導の成果が上がっている。

項目	評 価 項 目	自己点検 評価	学校関係者 評価
4-1	就職率向上が図られているか	3	3
4-2	資格取得率の向上が図られているか	3	3
4-3	退学率の軽減が図られているか	3	3

4-4	卒業生等の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2	2
4-5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	2	2

【審議内容】

4-3 退学率の軽減が図られているか。

(具体的取り組み)

自己発見検査等を活用した学生の心情等の把握に努めるとともに、担任制によりきめ細やかな指導を行っている。また、教職員間の情報共有により組織的な体制を構築して退学率の軽減を図っている。

(課 題)

学力不足及び学習意欲の低下等により令和6年度は日本人7名、留学生2名の退学者を出したことから、その要因及び環境を分析して次年度の退学率軽減策に反映する必要がある。

(改善策)

現在実施している自己発見検査等を活用した学生の心情等の把握及び担任制は継続して実施するとともに、分析・検討した退学率軽減策及び学生の現況を教職員間で適宜情報共有することにより組織的な体制を構築して退学率の軽減を図っていく。

<委員の方々からのご意見等>

- ・退学率は例年に比べ多かったが、入学後の進路変更もあることから、学校及びご家族の支援が必要である。
- ・退学者のビザの処置については適正に処置済み。

(オ) 学生支援

就職支援策については、各種教育を通じて、入学時から学生の職業意識の涵養に努めるとともに、クラス担任及び就職担当教員によるきめ細やかな就職・進路指導により100%就職が達成されており、そのほとんどの学生が希望通りの会社に就職ができています。

経済的な支援に関しては、日本人学生に対しては、学校独自の特待生制度を保持するとともに、担当事務職員により高等教育の修学支援新制度を含めた日本学生支援機構の奨学金制度等を可能な限り有効に活用できるように学生、保護者に対して入学時から説明会を計画的に実施してきめ細やかな支援体制を構築し、懇切丁寧な対応に努めている。また、留学生に対しては、学校独自の特別奨学金制度を保持するとともに、留学生受入れ促進プログラムを活用できるよう対応に努めている。

項目	評 価 項 目	自己点検 評価	学校関係者 評価
5-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3	3
5-2	学生相談に関する体制は整備されているか	3	3
5-3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3	3
5-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3	3
5-5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	2	2
5-6	保護者と適切に連携しているか	3	3
5-7	卒業生への支援体制はあるか	2	2
5-8	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育	3	3

	の取り組みがおこなわれているか		
--	-----------------	--	--

【報 告】

5-1 進路・就職に関する支援体制は整備されているか。

(具体的取り組み)

就職担当、クラス担任を中心に履歴書記入要領、面接指導及び進路・就職相談等を行い、学生の希望に応じた進路指導、就職支援が実施できる体制を整備している。

(課 題)

就職担当はクラス担任も兼務していることから業務多忙となり、就職活動時期も集中することから学生に対して十分指導できる体制とは言い難い。

(改善策)

就職担当を補佐できる教職員を補佐者として指定して、就職活動に係る情報共有を実施して、進路指導、就職支援の体制の強化、充実を図る。

＜委員の方々からのご意見等＞

- ・学校で留学生を支援する制度を検討してもらいたい。
- ・留学生を受け入れる企業の反応は、日本人と比べ、仕事へのやる気、真面目さは比べ物にならないところまできている。
- ・企業奨学金を整備している会社及び研修が充実している会社は、留学生が働きやすい環境である。
- ・留学生が退職する理由は、より良い条件の所に行くことが多い。留学生のネットワークで情報は共有される。
- ・本校においては、3年間という機関で自動車整備士の技術だけでなく、日本での生活、規律を守るということを懇切丁寧に学ばせている。
- ・就職してからも、精神的なサポートを含め取り組んでいる。

(カ) 教育環境

本校は、福岡市博多区の博多駅の近傍に位置しており通学に適した環境であり、また、本校近傍には各社ディーラー等自動車関連の企業が多数集中する地域となっていることから、通学时等において自動車整備士としての職業意識の涵養や修学意欲の向上に適した恵まれた教育環境にある。

また、学生の居住する地域の近傍にも、複数のディーラーや自動車整備工場が数多く存在することから、希望のインターンシップ先で研修しやすい環境にある。

学校の施設・設備については、一級自動車整備士及び二級自動車整備士養成施設として必要な基準を十分満たしており、施設の防火点検や車両用エレベーター等の保守点検等も国が定める法令に基づき定期的に受検しており、合規適正に維持・管理している。

項目	評 価 項 目	自己点検 評価	学校関係者 評価
6-1	施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	3	3
6-2	学内外の実習施設、インターンシップについて十分な教育体制を整備しているか	3	3
6-3	防災に対する体制は整備されているか	3	3

【報 告】

6-1 施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか。

(具体的取り組み)

学校設置基準に基づき施設・設備を維持するとともに、計画的に必要な改修・修繕等に取り組み整備している。

(課 題)

実習車、教材の老朽化が顕著となっており、逐次進化する自動車の整備に必要な教材の確保が必要である。また、自動車整備士制度の変更に伴い、実習車に入れ替え、増加について検討が必要である。

実習場内に不用品が多く存在していることから実習場スペースを圧迫している。

(改善策)

老朽化対策として自助努力による施設・設備の整備による経費の節用と効果的な運用を図るとともに、安全性から必要な部分は計画的に更新する。また、関連企業等との連携による実習教材等の更新を推進する。不用品については、計画的に処分・廃棄を積極的に推進する。

<委員の方々からのご意見等>

- ・実習車は、自動車の基本が学べる車を選定している。現在、ハイブリッド車が多くなり触れる車が減ってきている。
- ・二級自動車整備士登録試験の内容に合致する教材等の選定が必要である。

(※) 学生の受け入れ募集

本校は開校以来、建学の精神である「個性の伸展」を重視し、自動車整備士への夢と希望を持った学生、工業系自動車科・コース以外の出身者、社会人、留学生を、幅広く受け入れている。

九州・山口各県を中心に、教職員に担当区域を付与してそれぞれの担当区域内の高校訪問、事務職員による各日本語学校・専門学校広報を実施し募集広報を行っている。令和6年度は福岡県以外の九州各県の高校訪問を実施し募集広報を強化した。

また、ホームページやパンフレット等、各種広報媒体等により国家資格試験合格状況や就職状況等の教育成果を正確・確実に伝えている。

項目	評 価 項 目	自己点検 評価	学校関係者 評価
7-1	学生募集活動は、適正におこなわれているか	3	3
7-2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3	3
7-3	校納金は妥当なものとなっているか	3	3

【報 告】

7-1 学生募集活動は、適正におこなわれているか。

(具体的取り組み)

教職員による広報会議に基づき、年度における広報活動の取り組み方の認識共有を図るとともに、広報担当区域の割り当てにより県内高校訪問を行うとともに、事務職員による日本語学校広報、専門学校広報、会場ガイダンス等各種募集広報手段を駆使し学生募集活動を行っている。

(課 題)

都築学園内関連校以外の日本人入学者が低調である。

(改善策)

高校進路指導担当者との連携強化を念頭においた広報活動の実施による日本人入学者の確保、各日本語学校・専門学校との連携による留学生募集広報の推進と常続的な留学生入学者の確保を推進する。

<委員の方々からのご意見等>

- ・日本人は出生率からみても相当学生数が減ってきており、改善策をとにかくやっていくしかない。
- ・福岡県自動車整備振興会としても、1日体験コースを設けて、県内の高校に案内して、エンジンを分解・結合して始動する成功体験を経験させて、自動車整備士の魅力を発信している。

(7) 財 務

学校法人都築学園全体として効率的・効果的な経営に取り組んでいるところであり、中長期的には学校の財務基盤は安定しているものと考えている。

また、私立学校法や学園規程に基づき、公認会計士による監査を行い、評議員会、理事会に報告するとともに、ホームページ上で情報公開している。

項目	評 価 項 目	自己点検 評価	学校関係者 評価
8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3	3
8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3	3
8-3	財務について会計監査が適切に行われているか	4	4
8-4	財務情報公開の体制整備はできているか	4	4

【報 告】

8-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。

(具体的取り組み)

学校法人全体として効率的・効果的な経営に取り組んでいるところであり、中長期的には学校の財務基盤は安定しているものと考えている。

(課 題)

各課程定員数に応じた安定的な学生数の確保が重要であるが、令和6年度は退学者数が少し多かったようである。

(改善策)

効果的かつ効率的な募集広報による入学者を確保するとともに、入学後の担任を中心とした教職員の組織的な学生指導等の体制を確立する。

(7) 法令等の遵守・内部質保障

本校は文部科学省から認可された専修学校であり、国土交通省の自動車整備士養成施設であるため、専修学校としての文部科学省の設置基準を遵守するとともに、国土交通省九州運輸局による立ち入り検査を受検する等、法規適正に学校運営を行っている。

また、年度末に自己点検・評価を行い、問題点を明確にしてその改善に取り組むとともに、その結果を学校ホームページで情報公開している。

項目	評 価 項 目	自己点検 評価	学校関係者 評価
9-1	法令・専修学校設置基準の遵守と適正な運営がなされているか	3	3

9-2	個人情報に関してその保護のための対策がとられているか	3	3
9-3	自己評価の実施と問題点の改善をおこなっているか	3	3
9-4	自己評価結果を公開しているか	3	3

【報 告】

9-3 自己評価の実施と問題点の改善をおこなっているか。

(具体的取り組み)

教職員及び事務職員に対して年度末に自己点検・評価アンケートを行い、現業務の課題を明確にしてその改善策を検討している。

(課 題)

自己評価に基づく問題点の明確化と分析検討が不十分である。

(改善策)

問題点の明確化とその背景を含めた分析検討を実施して、改善策の具体化と積極的な取り組む体制を確立する。

(コ) 社会貢献・地域貢献

地域ボランティアの一環として学校周辺地域の校外美化運動により清掃活動を定期的実施するとともに、東光公民館における地域住民と留学生の交流行事及び献血事業に参加して社会・地域貢献に取り組んでいる。

若者の車離れが急速に進んでおり、また、車・バイクに興味を持つ若者が減少する中、自動車整備士の仕事について高校生に幅広く知ってもらうため体験型学習等の授業を行い社会貢献に取り組んでいる。

項目	評 価 項 目	自己点検 評価	学校関係者 評価
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献をおこなっている	3	3
10-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3	3
10-3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3	3

【審議内容】

10-3 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか。

(具体的取り組み)

一昨年まで東光中学校との交流会を実施していたが、令和6年度は実施できておらず、また、地域に対する公開講座・教育訓練の受託も実施できなかった。

(課 題)

地域に対する公開講座・教育訓練受託のための態勢づくりが必要である。

(改善策)

地域に対する公開講座・教育訓練受託のための態勢を含めた検討を推進する。

<委員の方々からのご意見等>

・公民館で毎月発行している「公民館だより」を配布するようにする。また、土日のイベントについても随時案内していく。

(サ) 国際交流

少子化による国内の慢性的な労働力不足を踏まえ、留学生ベーシックコースを設置し、海外の多くの国からの留学生を幅広く受け入れ、日本人と共に教育を受けるグローバルな環境を活かして、日本人と留学生の職業人としての養成を行い、国際社会に貢献する学校を目指している。

項目	評 価 項 目	自己点検 評価	学校関係者 評価
11-1	留学生の受け入れ・派遣について戦略を持っていつているか	3	3
11-2	留学生の受け入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	3	3
11-3	留学生の学習・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	3	3
11-4	留学生の学習・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	3	3

【審議内容】

11-3 留学生の学習・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか。

(具体的取り組み)

クラス担任を主として、全教職員で留学生に関する学習及び生活指導に係る情報を共有し、適切に学習・生活指導等ができるよう体制を整備している。

(課 題)

教職員に留学生の母国語が理解できる者がいないため、緊急な場合に留学生の保護者との会話が難しくなっている。

(改善策)

パソコン、携帯電話等の翻訳機能アプリの活用を積極的に推進する等、学生とのコミュニケーションを図るツールについても検討が必要である。